



2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月13日

上場会社名 ポーターズ株式会社 上場取引所 東
コード番号 5126 URL https://www.porters.jp
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 西森 康二
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 天野 竜人 TEL 03 (6242) 9829
半期報告書提出予定日 2024年8月13日 配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	934	-	172	-	172	-	122	-
2023年12月期中間期	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 包括利益 2024年12月期中間期 109百万円 (-%) 2023年12月期中間期 一百万円 (-%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	77.07	72.85
2023年12月期中間期	-	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	1,481	1,223	80.2
2023年12月期	1,470	1,088	70.7

(参考) 自己資本 2024年12月期中間期 1,191百万円 2023年12月期 1,039百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年12月期	-	0.00	-	-	-
2024年12月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,849	16.5	382	1.3	382	0.9	273	2.2	174.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) PORTERS ASIA SG PTE. LTD.、除外 1社

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年12月期中間期	1,596,400株	2023年12月期	1,572,500株
② 期末自己株式数	2024年12月期中間期	1株	2023年12月期	1株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2024年12月期中間期	1,589,950株	2023年12月期中間期	1,570,850株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	
中間連結会計期間	5
中間連結包括利益計算書	
中間連結会計期間	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、経済活動の正常化が進んだことから、景気は緩やかに持ち直す動きがみられたものの、資源価格の高騰や物価高、欧米における金融引き締めの影響、中国経済に対する先行き懸念や中東情勢の緊迫化など、依然として不透明な状況が続いております。

このような経済環境の中、当社グループでは「Matching, Change your business」をミッションに掲げ、世界の雇用にもっとも貢献する企業になるというビジョンのもと、HR-Tech事業においては、人材クラウドマッチングサービスであるPORTERSを提供するとともに、Global HR-Tech事業では、求人媒体であるatB Jobsの開発・運営を行ってまいりました。この結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高934百万円、営業利益172百万円、経常利益172百万円、親会社株主に帰属する中間純利益122百万円となりました。

なお、前中間連結会計期間については中間連結財務諸表を作成していないため、比較分析は行っておりません。報告セグメント別の業績は以下のとおりであります。

(HR-Tech事業)

当中間連結会計期間において、セールス面では、見込顧客の獲得のためにデジタルマーケティングへの投資を継続的に行うとともに、国内外でのPORTERS Magazineの発行によって市場における潜在顧客へのアプローチに努めました。これに加えて、営業部門の人員増強等により営業活動を強化した結果、多数の新規顧客の獲得に繋がりました。PORTERSの開発面では、利便性向上のためのPORTERSの既存機能の改修及び効率的な業務遂行のためのパフォーマンスの改善を行いました。これらの活動の結果、新規顧客のID獲得は良好に推移し、ID数の伸長にも寄与いたしました。さらに、当社顧客である人材紹介会社や労働者派遣会社において、業務効率化のためにIT投資を積極的に行うという姿勢は継続したことから、PORTERSは堅調に成長し続け、2024年6月末時点で有料ユーザーID数は13,989IDとなりました。

この結果、HR-Tech事業における当中間連結会計期間の売上高は915百万円、セグメント利益は215百万円となりました。

(Global HR-Tech事業)

当中間連結会計期間において、オフショア開発サービスについては、バングラデシュ国内のリソースを活用したサービスの提供を行ってまいりました。また、求人媒体であるatB Jobsでは、求人掲載件数が期初計画通りに順調に伸長するとともに、モバイルアプリのリリースなど、同サイトの利便性向上のための開発及び改修を行いました。

この結果、Global HR-Tech事業における当中間連結会計期間の売上高は21百万円、セグメント損失は43百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における資産合計は1,481百万円となり、前連結会計年度末に比べ11百万円増加いたしました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ0百万円増加し、1,221百万円となりました。これは主に、PORTERSの利用料の請求時期を変更したこと等による売掛金153百万円の増加(※)、請求時期の変更等に伴う現金及び預金239百万円の減少によるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ10百万円増加し、259百万円となりました。これは主に、投資その他の資産21百万円の増加、減価償却による無形固定資産12百万円の減少によるものであります。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末に比べ124百万円減少し、257百万円となりました。これは主に、PORTERSの利用料の請求時期を変更したことによる契約負債124百万円の減少(※)によるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は1,223百万円となり、前連結会計年度末に比べ135百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益の計上122百万円による利益剰余金の増加があったことによるものであります。

※ PORTERSの利用料の請求時期について、2023年12月までは、役務提供月の前月に利用料を請求し、前受金(契約負債)として収受しておりましたが、2024年1月より、利用料を役務提供月の翌月に請求することに変更いたしました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比べて239百万円減少し、873百万円となりました。

当中間連結会計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、233百万円の支出となりました。これは主に税金等調整前中間純利益172百万円の計上、売上債権の増加153百万円、契約負債の減少124百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、48百万円の支出となりました。これは主に、関係会社株式の取得による支出30百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、1百万円の収入となりました。これは主に、新株予約権の行使による株式の発行による収入1百万円によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月9日に公表いたしました業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。なお、当該業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,112	873
売掛金	67	220
仕掛品	3	1
その他	37	126
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	1,220	1,221
固定資産		
有形固定資産	10	12
無形固定資産		
のれん	102	92
その他	15	12
無形固定資産合計	117	105
投資その他の資産	121	142
固定資産合計	249	259
資産合計	1,470	1,481
負債の部		
流動負債		
買掛金	35	35
未払金	43	59
未払法人税等	61	66
契約負債	151	27
賞与引当金	10	5
その他	79	63
流動負債合計	381	257
負債合計	381	257
純資産の部		
株主資本		
資本金	47	55
資本剰余金	37	45
利益剰余金	955	1,080
株主資本合計	1,039	1,181
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	—	9
その他の包括利益累計額合計	—	9
非支配株主持分	48	31
純資産合計	1,088	1,223
負債純資産合計	1,470	1,481

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(中間連結会計期間)

(単位:百万円)

	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	934
売上原価	222
売上総利益	711
販売費及び一般管理費	538
営業利益	172
営業外収益	
受取利息	0
営業外収益合計	0
営業外費用	
為替差損	0
営業外費用合計	0
経常利益	172
税金等調整前中間純利益	172
法人税等	66
中間純利益	105
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△16
親会社株主に帰属する中間純利益	122

(中間連結包括利益計算書)

(中間連結会計期間)

(単位:百万円)

	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純利益	105
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	4
その他の包括利益合計	4
中間包括利益	109
(内訳)	
親会社株主に係る中間包括利益	126
非支配株主に係る中間包括利益	△16

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	172
減価償却費	3
のれん償却額	10
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△5
受取利息	△0
為替差損益(△は益)	△1
売上債権の増減額(△は増加)	△153
棚卸資産の増減額(△は増加)	2
仕入債務の増減額(△は減少)	0
契約負債の増減額(△は減少)	△124
その他	△75
小計	△171
利息の受取額	0
法人税等の支払額	△61
営業活動によるキャッシュ・フロー	△233
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△2
関係会社株式の取得による支出	△30
貸付けによる支出	△6
敷金の差入による支出	△7
保険積立金の積立による支出	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△48
財務活動によるキャッシュ・フロー	
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1
財務活動によるキャッシュ・フロー	1
現金及び現金同等物に係る換算差額	4
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△275
現金及び現金同等物の期首残高	1,112
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	36
現金及び現金同等物の中間期末残高	873

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

	報告セグメント			合計	調整額	中間連結損益 計算書計上額 (注)
	HR-Tech事業	Global HR- Tech事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	915	18	934	934	—	934
セグメント間の内部売上高又 は振替高	—	2	2	2	△2	—
計	915	21	936	936	△2	934
セグメント利益又は損失(△)	215	△43	171	171	1	172

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。